

## 環境基本計画策定アンケート調査結果

### アンケートの概要（対象及び調査方法）

#### ●市民

- 対象 象：住民基本台帳を基に無作為抽出環境にやさしい生活宣言家族
- 発送数：市民無作為抽出者1,444環境にやさしい生活宣言家族120
- 回収票数：665
- 回収率：42.5%

#### ●事業者

- 対象 象：市内事業所100社を無作為抽出
- 発送数：100
- 回収票数：52
- 回収率：52.0%

#### ●小学5年生

- 対象 象：市内の小学校に通う小学5年生全員対象
- 調査方法：学校での配布・回収
- 回答票数：419

#### ●中学2年生

- 対象 象：市内の中学校に通う中学2年生全員対象
- 調査方法：学校での配布・回収
- 回答票数：429

良好な環境の保全並びに快適な環境の維持及び創造についての施策を、長期的視点に立ち総合かつ計画的に推進し、豊かな自然と調和した快適な環境を確保し、将来の世代に引き継いでいくことを目指して、「常陸大宮市環境基本計画」を策定することになりました。

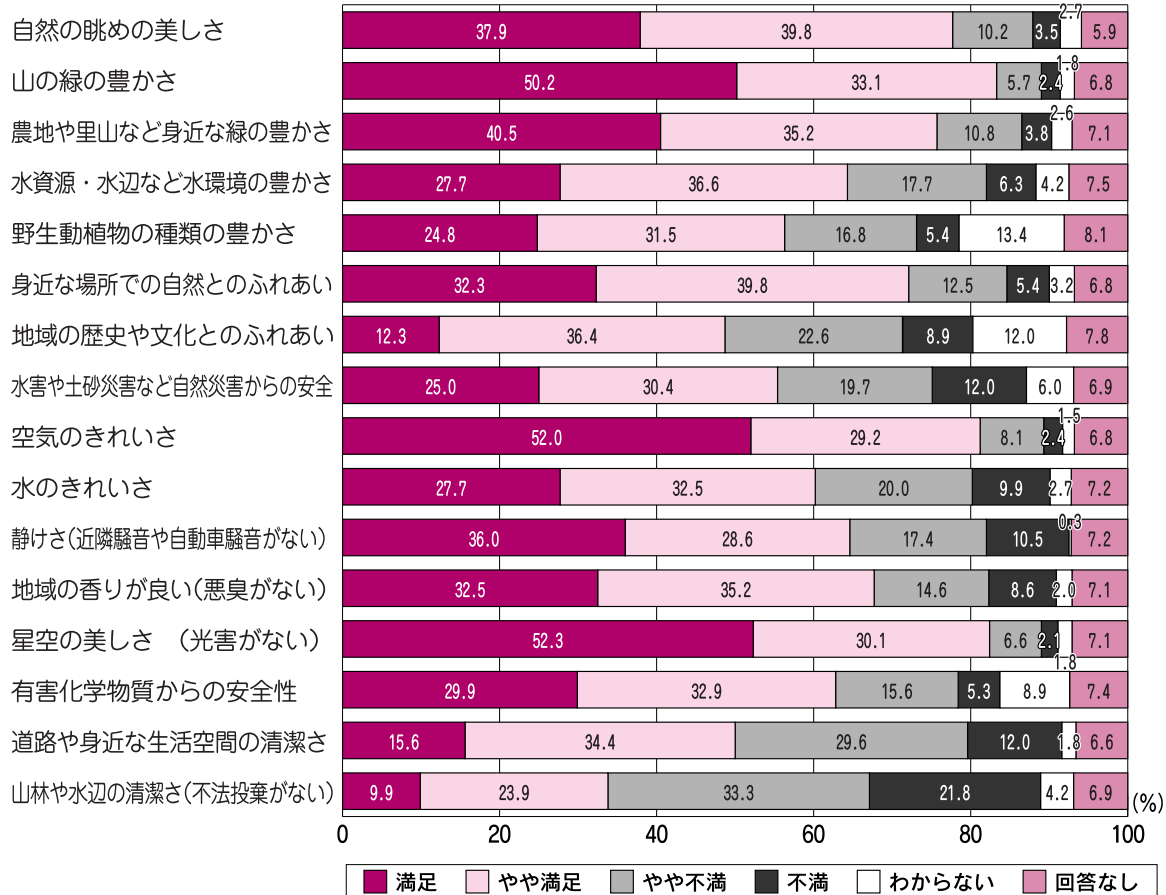
計画の策定にあたり、市民の皆さんの環境に対する考えや意見等を十分反映したものとするため、平成19年7月に環境意識調査を実施しました。

この度、集計結果がまとまりましたので、その一部をご紹介します。

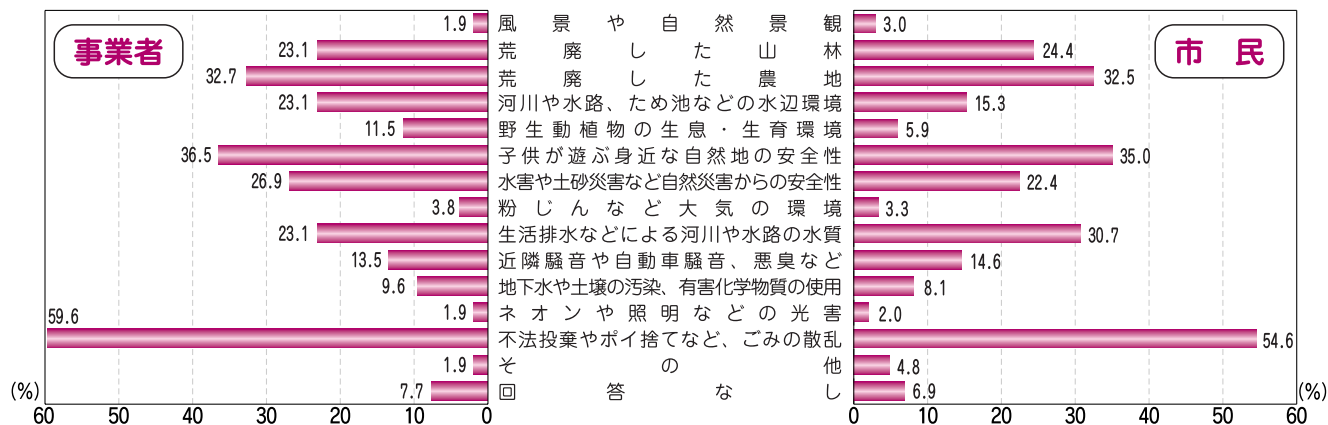
なお、今後、計画案がまとまりましたら市民からの意見を公募して、その意見を考慮したうえで計画書を策定します。

健全で良好な環境の確保に向けて

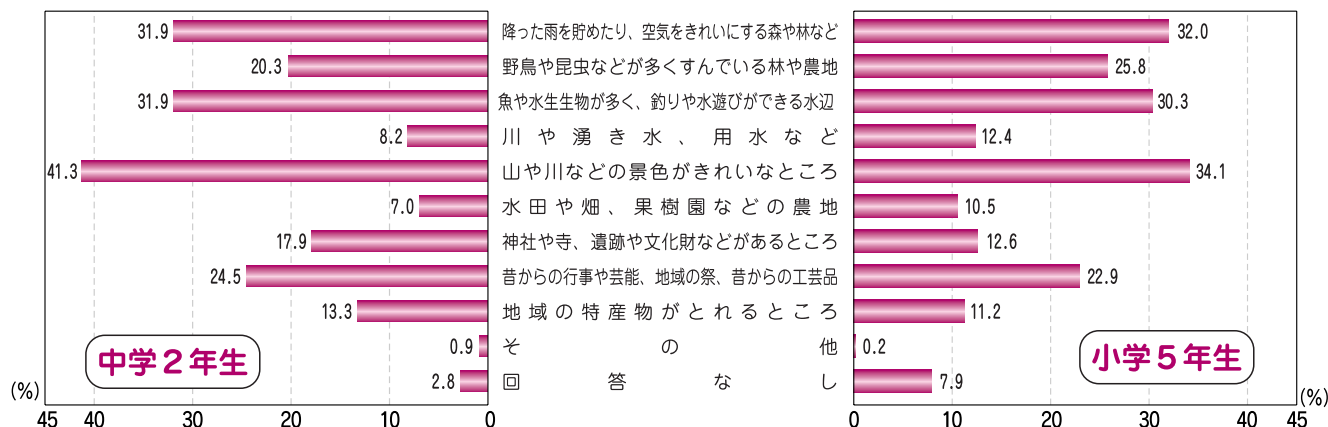
### 1 地域の環境について 地域の環境について感じていること(市民)



地域の環境で改善が望まれることは（市民、事業者対象）



常陸大宮市で大切に残していきたい環境（小学5年生、中学2年生対象）



■地域の環境

住まい周辺の環境をどのように感じているかについては、「山の緑の豊かさ」及び「星空の美しさ」「空気のきれいさ」が、それぞれ「満足」と「やや満足」の合計割合が8割を超え、ほとんどの市民が概ね満足としています。

反面、「山林や水辺の清潔さ（不法投棄がない）」は、「不満」と「やや不満」の合計割合が5割を超え、不満度が高くなっています。また、「道路や身近な生活空間の清潔さ」「地域の歴史や文化とのふれあい」も満足度が低くなっています。

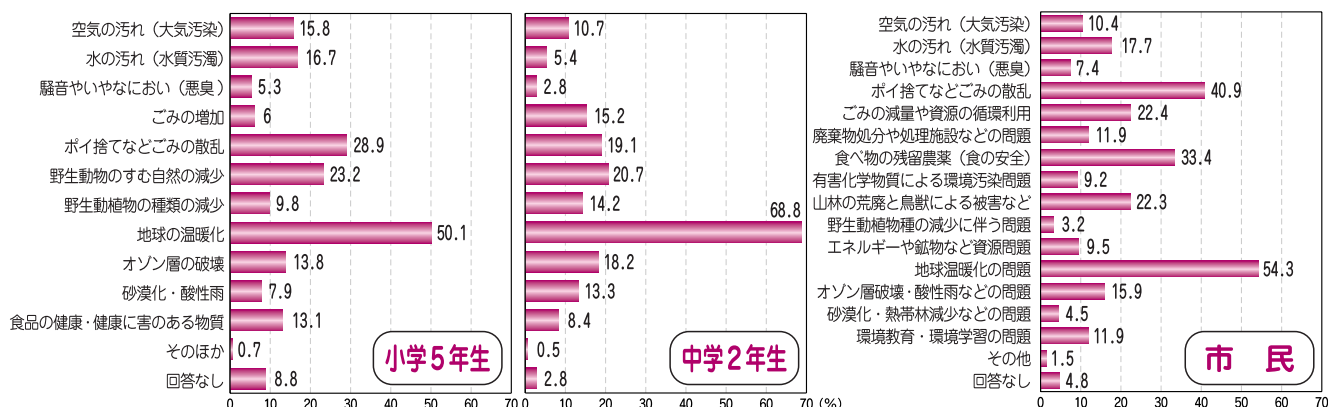
地域の環境でとくに改善が望まれることとして、半数以上の市民が「不法投棄やポイ捨てなど、ごみの散乱」としています。次いで、「子供が遊ぶ自然地の安全性」「荒廃した農地」「生活排水などによる河川や水路の水質」としています。

■残していきたい環境  
小学5年生と中学2年生では、「山や川などの景色がきれいなところ」を3人に1人以上があげています。次いで「降った雨を貯めたり、空気をきれいにする森や林など」「魚や水生生物が多く、釣りや水遊びができる水辺」となっています。

■関心がある環境問題

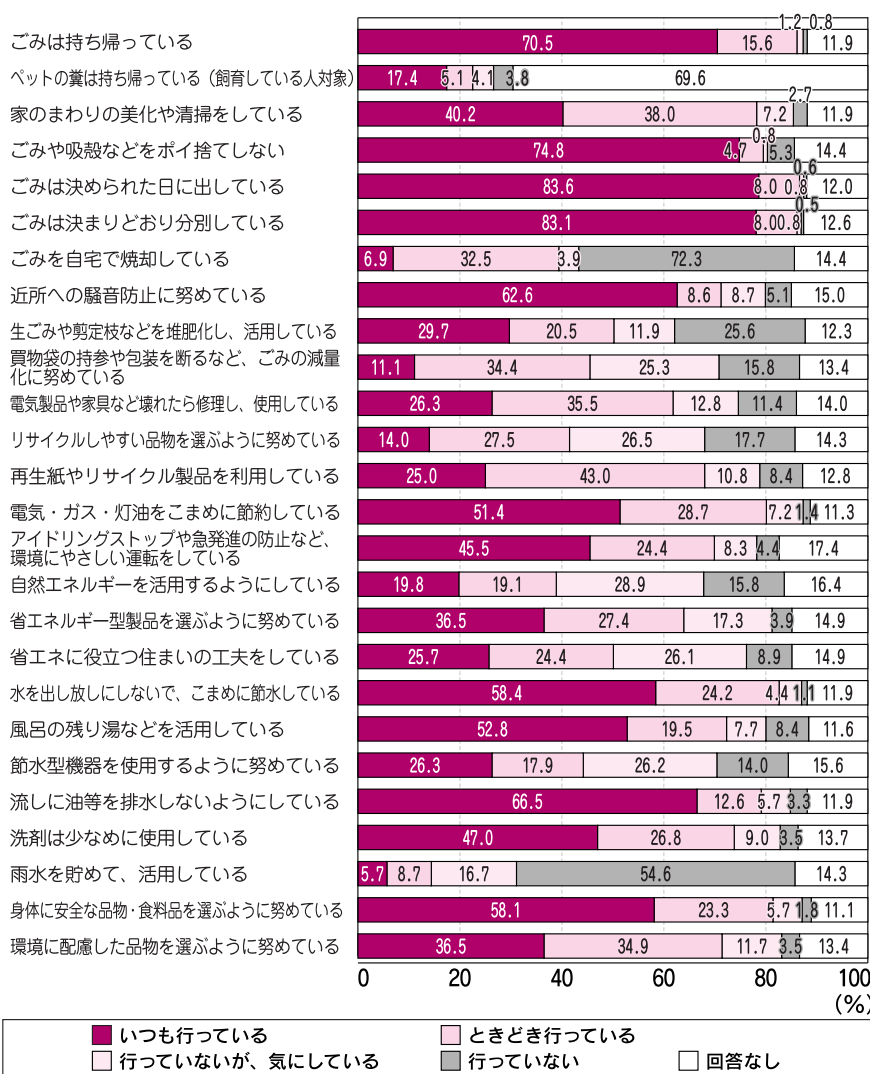
小学生、中学生、市民とも「地球温暖化」が特に関心が高く、また、市民では「ポイ捨てなど、ごみの散乱」「食の安全」も関心が高くなっています。

2 環境問題について 今、関心がある環境問題について



### 3 環境保全への取組み

日常生活での環境保全への取組みについて(市民)

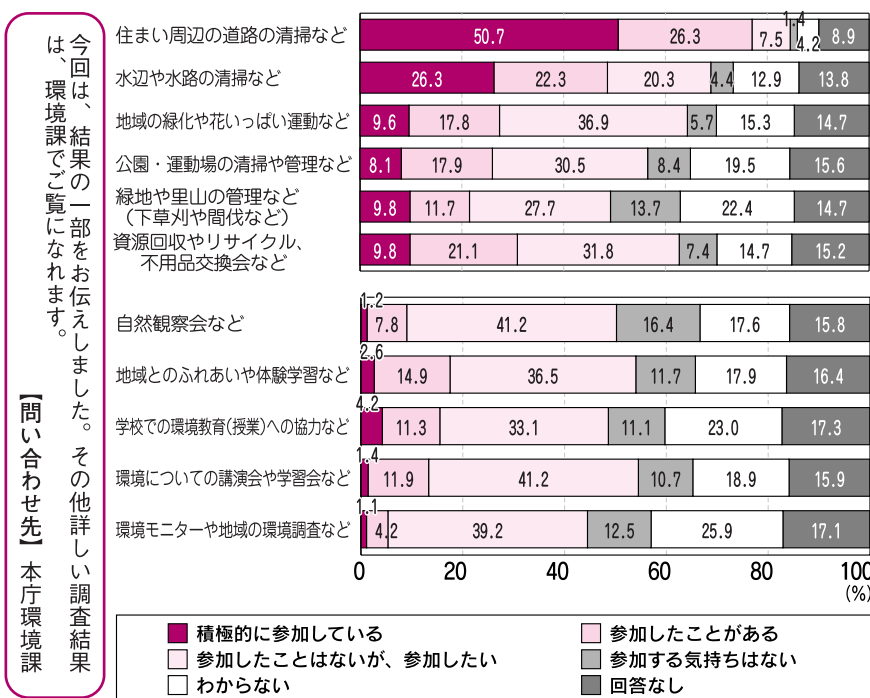


■日常生活での環境保全への取組み  
日常生活での環境保全への取組みについて、いつも行っている取組みとして「ごみを決められた日に出している」「ごみを決められた日に出している」「ごみを決めておき分別している」は8割を超えているほか、ごみの持ち帰り、ポイ捨てしない、流しに油を流さないなどの取組みも高い傾向となっています。

■「雨水の活用」を除外して  
「雨水の活用」を除くほとんどの取組みについて高くなっています。また、「買物袋持参や包装を断る」や「リサイクルしやすい品物を選ぶ」は低くなっています。

「いつも行っている」ときどき行っているの合計では、家のまわりの美化や清掃、電気・ガス・灯油等のこまめな節約、風呂の残り湯の活用、洗剤の減量化の取組みなどが高くなっています。「行っていないが、気にしている」までを含めると、「雨水の活用」を除くほとんどの取組みについて高くなっています。

市や地域で行われる環境保全活動や環境学習などへの参加について(市民)



今回は、結果の一部をお伝えしました。その他詳しい調査結果は、環境課でご覧いただけます。  
【問い合わせ先】本庁環境課

「ごみを自宅で焼却している」では、「いつも行っている」ときどき行っているを合わせると約4割と高く、今後の課題ともなっています。

■環境保全活動への参加など  
「住まい周辺の道路の清掃など」は積極的に参加している割合が高く、参加した割合が約4割と高くなっています。しかし、「参加したことはないが、参加したい」が約4割と高くなっています。

また、市や地域で「活動や運動の日」と定めれば、あるいは参加依頼や協力要請などがあれば、参加や協力できるとの回答も多く見られました。

# 市役所での環境への取り組み状況を お知らせします

## 平成18年度実績

### 削減目標達成に向けた取組み

市では平成18年度に地球温暖化対策実行計画書を策定し、市役所の事務事業活動に伴う温室効果ガスの排出抑制に向け、取組んでいます。この計画の目標は、平成17年度を基準に平成23年度までに5パーセント以上の温室効果ガス削減を図ることとしています。

平成18年度の市役所における温室効果ガス排出量は、約3600t-CO<sub>2</sub>となり、前年と比較すると約180t-CO<sub>2</sub>の削減となりました。(表1)これをコスト換算すると約930万円の節約に相当します。

### 主な取組内容

- ◆庁舎内や事務室の室内冷暖房温度の適正化(暖房20℃、冷房28℃)を徹底しています。
- ◆昼休み時間や勤務時間外は、不必要な照明を消灯しています。
- ◆公用車の適正な台数、またハイブリッド自動車の導入や小型化(軽自動車)についても検討しています。
- ◆アイドリング・ストップを励行しています。

- ◆ごみ減量化のため、個人単位のごみ箱を廃止し、ごみの分別をしています。
- ◆雨水利用タンクの設置を推進しています。



大賀小・御前山中に設置!

### 循環型社会の構築に向けて

地球温暖化により、地球の平均気温は20世紀の100年間に0.6℃上昇しました。このまま進むと2100年には、1.4～5.8℃上昇するとも予測され、環境問題はますます深刻さを増しています。

地球温暖化の主な原因となる二酸化炭素排出量を削減することは、地球温暖化対策になるだけでなく、限りある資源の節約にもつながります。まず、一人ひとりが身の回りの現状を知ることから始まり、そこから

ら問題の解決に向けてどのような取り組みを考え、積極的に行動していくことが大切です。ごみの分別やマイバッグの利用、節電など、環境に配慮した行動が地球温暖化の防止に大きく貢献することになります。住民、事業者、行政が互いに協働し、環境負荷の少ない循環型社会の構築を目指しましょう。

市役所の温室効果ガス排出量比較表

(表1)

温室効果ガスを排出する活動		排出量基準値 (平成17年度)	平成18年度排出量[kg-CO <sub>2</sub> ]		目標達成率 (A) / (B)	
			目標値(A)	実績値(B)		
二酸化炭素 (CO <sub>2</sub> )	燃料の使用	ガソリン	266,282	263,619	261,299	101%
		軽油	169,298	167,605	195,482	86%
		灯油	536,602	531,236	481,030	110%
		A重油	298,371	295,387	278,588	106%
	LPG	111,553	110,437	116,497	95%	
	電気の使用*	2,445,176	2,420,724	2,314,572	105%	
メタン(CH <sub>4</sub> )	公用車の走行	647	640	652	98%	
一酸化二窒素(N <sub>2</sub> O)	公用車の走行	13,662	13,525	13,793	98%	
HFC	カーエアコンの使用	3,335	3,301	3,354	98%	
総排出量(kg-CO <sub>2</sub> )		3,844,927	3,806,474	3,665,267	104%	

\*目標達成率は、増加目標のため(B) / (A)で算出

### 買い物はマイバッグ持参で!

地球温暖化防止のため、レジ袋の削減にご協力を

ごみになるレジ袋を受け取らない、マイバッグ運動を推進しています。

レジ袋は石油を使用して作っています。レジ袋を使い捨てる生活(日本全国で年間約305億枚を使用)は石油を消費し、燃やすことにより二酸化炭素が発生し、地球温暖化の原因ともなっています。

限りある資源の保全と地球温暖化防止のために、買い物はマイバッグの利用をお願いします。

お買い物は  
マイバッグ持参で



### ★マイバッグってどんなバッグ?

いつももらっているレジ袋の代わりになる自分の買い物袋のこと。

### ●問い合わせ先

本庁 環境課

☎ 52-1111 内線238